

追跡！あれはどうなった？

設計に着手

南小学校から小菅地区までの道路は、児童たちの通学路となっています。しかし、道路脇の側溝は素掘りの土側溝のため、大雨の時には、畑の土が流れ込み、側溝は浅くなり道路に流れてくるといふ状態でありました。冬になると、その水が凍結して非常に危険な状態となります。

この度、ようやく願いが叶い、事業着手（実施設計）することになりました。予算は800万円です。現在、道路には歩道やガードレールはありません。きちんと側溝を整備し、蓋をして、歩行者のスペースが広くなればよいと思います。

地区民は、きちんとU字溝を作り土砂の流入を防ぐこと、また、雨水等は堰や小川に流れるようにしてもらいたいと訴えてきました。議会でも何度も取り上げてきた案件です。

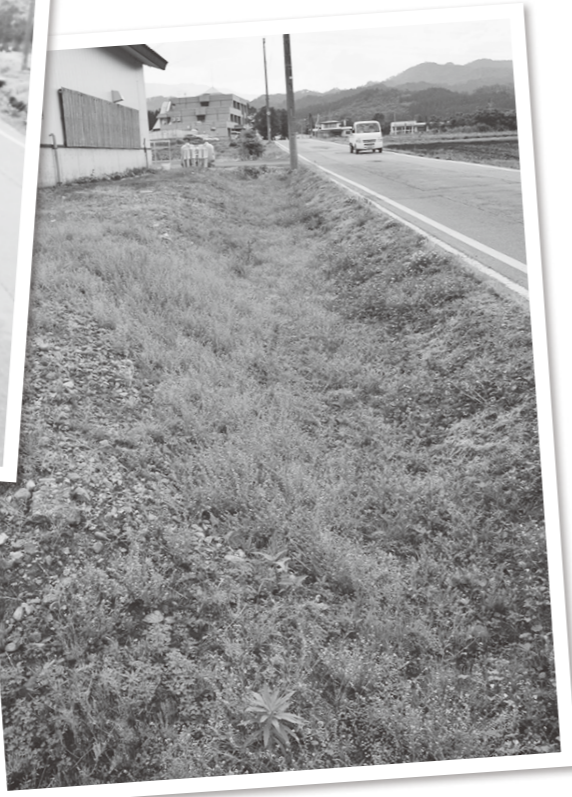
なお、今年度は設計だけの予定であり、本工事は来年度以降になることですが、児童たちの安全のためにも早急に事業を進めてもらいたい。完成時に再度、記事にしようと思います。

【記 小玉】

小菅地区民
長年の要望実現！



歩道もない通学路も解消へ

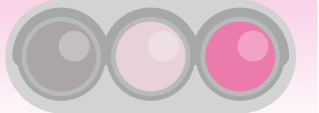


第2回 臨時会 5/11

- ◇損害賠償の和解についての専決処分の報告について
- ◇平成29年度大石田町一般会計補正予算（第11回）の専決処分の承認について
- ◇平成29年度大石田町国民健康保険特別会計補正予算（第5回）の専決処分の承認について
- ◇除雪ドーザの取得について ほか



信号機の設置を請願



海谷地区県道の交差点に信号機設置を求める請願



全員賛成

採択

- ◆請願者 大石田町海谷区長 大山 省三
大石田町駒籠区長 海藤 典雄
- ◆紹介議員 齋藤 公一
- ◆請願要旨 海谷地区内、一般県道123号(荻袋大浦線)と一般県道305号(大石田名木沢線)の十字路交差点は、朝夕大変混雑し、ここ数年、多くの交通事故も発生しているため、信号機の新規設置を強く要望します。

警察署に意見書を提出

政策サポーター会議を開催！(7/18・7/26)

みなさん、議会の役割ってご存知ですか？
○自治体の意思決定 (議決)
○監視
○政策提言
などが主体と言えますが、議員の職業や構成は町の縮図となっていないのが現状です。
そこで、あらゆる地域・分野の方の意見・声を集約するために毎年議会報告会・地域住民との対話集会や、各種団体との懇談会を実施して、それらの声も提言すべきこととは反映させています。
今回、より幅広い声を集約し、開かれた議会にするために、議会への住民参加を目指し「政策サポーター会議」を実施することになりました。
先ごろ、庄内町では、県内初となる議員の定数割れが生じました。わが大石田町は、すでに過去2回の選挙が連続で無投票となつていきます。これ



は、町政に対する関心の希薄化の表れとも言えるでしょう。
今回、初の試みとなる「政策サポーター会議」は、町民と協働で政策を策定することで議会や町政に大きな関わりや興味を持っていただくことも狙いであります。
議会の活性化は、町の発展と町民福祉の向上につながります。
今後も続けていきたいと思っておりますので、多くの方々の参加を期待いたします。
(議長 村岡藤弥)